

日本語学習支援者対象 ICT 活用研修

～学習者の自律的な学びをサポートするために～

「定期的に教室に通えない学習者を継続的に支援したい」「遠隔地にいる学習者とながらつながりを持ちたい」と考えている方は多いと思います。オンライン会議システム「Zoom」や、自律的に学べるツールを利用して、学習者が持続的に学び続けられる支援の方法と一緒に考えてみませんか？



目的：Zoom の基本操作、活用方法を学ぶ

学習支援者として Zoom を使ってどのような支援が可能か考える

学習者の自律的な学習をサポートする ICT 活用法を考える



日時：**Zoom 基本編**

①10月31日（金）②11月7日（金）

Zoom 活用編

③11月14日（金）④11月21日（金）⑤11月28日（金）⑥12月5日（金）

※③～⑥は、Zoom の基本操作を習得されている方が対象です（「Zoom 基本操作 Cando チェック」参照）。

※単発でのお申込みも受け付けますが、全4回参加可能な方を優先します。

時間：18:00～20:00

開催方法：Zoom ※参加者には10月29日までに URL をお知らせします。

※パソコンでのご参加を推奨します。

（タブレットやスマートフォンでは一部非対応の機能がございます）

無料

講師：コミュニケーション学院 講師

①	10月31日（金）	《Zoomに参加者として入ってみよう》 Zoomに参加し、基本操作を学ぶ
②	11月7日（金）	《Zoomの操作をマスターしよう》 基本操作の復習・その他支援に役立つ操作を学ぶ
③	11月14日（金）	《Zoomのできることを考えよう》 Zoomを使ってできること、やってみたいことを共有する
④	11月21日（金）	《Zoomを使って学習者とながらろう》 ホワイトボード機能やチャットを使いながら、学習者と話す
⑤	11月28日（金）	《教材を使ってZoomで活動してみよう》 ICT教材を使用した、オンラインでの支援を考える
⑥	12月5日（金）	《Zoomでの活動を実践してみよう》 自分が支援している学習者を想定した学習活動を考え、発表する



お申込み

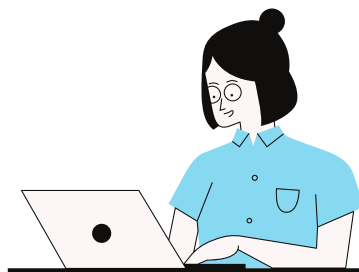
対象：現在兵庫県内で地域日本語教育に携わっておられる方

Zoom を活動に活かしたいと思っている方

定員：①②各回20名 ③④⑤⑥各回60名

※申し込み多数の場合、Zoom 経験が浅い方を優先します。

申し込み方法：こちらの QR コード・URL もしくは 下記メールアドレスからお申込みください。



→<https://forms.gle/Td8kAH2iuVrqfCbW9>

この研修の内容は昨年度と重なる部分もあります。ご了承の上お申し込みください。

※メールでお申し込みの方

(1)名前 (2)メールアドレス (3)活動している教室名 (4)参加希望日

(5)Zoom の使用経験

(①Zoom の使用経験がない ②研修受講等参加者として使用 ③日本語教室などでホストとして使用)

(6) 今後主催者（ホスト）として、Zoom を開く可能性がありますか？(①はい②いいえ③わからない)

(7)昨年度の ICT 活用研修に参加しましたか。

(8)研修に参加するときに使用する機器 (①パソコン ②タブレット ③スマートフォン)

(9)ふだんどのような形で日本語学習の支援を行っていますか。

例) | 対 | で教科書を使って支援している／テーマを決めて自由に会話している／学習者が教材を持ってきて、わからないところを教える など

(10)学習支援に使用している教科書があれば名前を書いてください。

(11)今回の研修で知りたいこと、講師に聞きたいことがあれば書いてください。

申し込み締切：10月24日（金）

お問い合わせ：support@communicainstitute.com

TEL:078-333-7720（コミュニケーション学院・内田）

コミュニケーション学院

〒650-0031 神戸市中央区東町116-2

TEL 078-333-7720 FAX 078-333-8570



この研修は、（公財）兵庫県国際交流協会が実施する令和7年度兵庫県地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業の一環として、コミュニケーション学院が受託し、開催します。



令和7年度地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業



令和7年度兵庫県地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業

Zoom 基本操作 Cando チェック

Zoom 基本編① 10 月 31 日（金）

以下の内容を第 1 回の研修で扱います。

	Cando	チェック
1	Zoom の招待 URL から Zoom に入室する	
2	ミュートボタンを使って、自分の音声を相手に届かせるかどうか切り替えることができる	
3	ビデオボタンを使って、自分の顔を映すかどうか切り替えることができる	
4	Zoom 画面に表示される自分の名前を変えることができる	
5	リアクションボタンを押して、絵文字を画面に出すことができる	
6	チャット機能を使って、メッセージを送受信することができる	
7	画面共有ボタンを使って、画像や資料を相手に見せることができる	
8	Zoom のアカウントを作成することができる	
9	Zoom を退出する	

Zoom 基本編② 11 月 7 日（金）

以下の内容を第 2 回の研修で扱います。

※第 1 回の内容を習得している方が対象です。

	Cando	チェック
10	ブレイクアウトルームに入退室することができる	
11	ブレイクアウトルーム内で画面を共有することができる	
12	ホワイトボード機能を使って、字を書くことができる	
13	Zoom でミーティングを主催する（ホストとして開く）	
14	ブレイクアウトルームを作ることができる	
15	Zoom を終了する	

Zoom 活用編（第 3 回～6 回）は上記の 1～12 をすでに習得している方が対象です。Zoom 活用編にご参加をご希望の方は、上の Cando リストでご確認ください。

Zoom の基本操作に慣れていない方は、Zoom 基本編にもご参加ください。

